

お口のケアのすすめ その2

お口の中を整えるのがん治療の一部です

日本歯科医師会では、がん患者さんのお口のケアをサポートする医科歯科連携事業を行っています。

体の病気を治すのに、 どうしてお口のケアが必要なの？



お口の中には多くの細菌が生息しています。普段は悪さをしない細菌も、手術や抗がん剤治療、あるいは放射線治療を行うことで一時的に全身の抵抗力が弱まったとき、肺炎や重症の口内炎などの様々な合併症の原因となって、手術後の治りが悪くなることがあります。しかし、体の治療を始める前に、あらかじめお口のケアを行い、細菌数をできるだけ少なくすることで、合併症のリスクを減らすことができます。

お口のケアってどんなことをするの？

お口の中の細菌は、その大多数が、歯の周りの汚れ（歯垢や歯石）の中に潜んでいます。お口のケアでは、専用の道具を使って歯の周りの汚れを除去するとともにセルフケア方法についてアドバイスします。また、むし歯があれば応急処置をして、口の中をできるだけ健康な状態に保つようにします。他にも全身麻酔の際、歯が傷ついたりすることを防ぐために、保護用マウスピースを作ることも重要なケアのひとつです。その結果、早く自分のお口で食事をとることができ、早期の回復が期待できるようになります。

定期的に歯科を受診されている方も、しばらく歯科を受診されていない方も、お口の中の環境を整えるため、がん治療を始める前に歯科医院の受診をお勧めします。

患者さんの声

（「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査」より）

食欲不振の結果、体力低下やお口の衛生状態が悪くなり悩んでいます。

薬のためか、口の中が荒れて、何を食べても味が殆ど感じません。

つばが出ないため、食事に苦勞しました。

放射線治療により、口の中がいたくて物がしみて食べられませんでした。

お口のケアを することによって 期待できる 効果

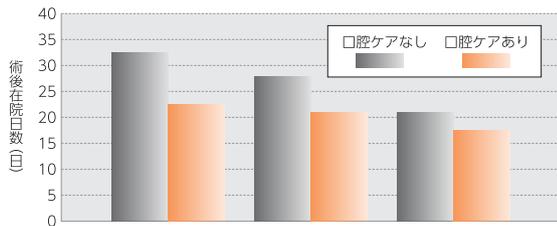
お口のケアでがん治療による副作用を軽減することができます！

●抗がん剤治療や放射線治療に伴うお口の中やあごの骨のトラブルが減少する

●手術後の肺炎、傷口からの感染リスクが減少する

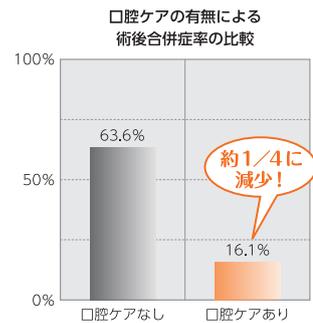
●入院期間が短縮される

下の図は、がん患者さんに対して手術前と手術後にお口のケアを行った場合、行わなかった方と比較して、入院日数が短縮したことを示しています。



●手術後の合併症が減少する

右の図は、がん患者さんを対象に、手術前にお口のケアを行った方と行わなかった方とを比較した結果、行った方は術後合併症が約1/4に減少したことを示しています。



●あらかじめお口の状態を改善しておくことで、手術後の食事開始をスムーズにしたり、食事の際の苦痛を軽減し、全身状態の回復を早めることができる

●全身麻酔時の気管挿管（人工呼吸器の管が口等を介して気管に入る）の際、歯の脱落や破折を防止する

つまり、お口のケアをすることで、
がん治療を受けた方の社会復帰を促進する効果が期待できるのです。